

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 6 週(2025/2/3~2/9) 感染症発生動向調査速報値 (2025/2/12 時点)】

定点医療機関※新規患者報告数: **200** 人、定点医療機関当たり **4.17** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点(小児科29定点、内科19定点)

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

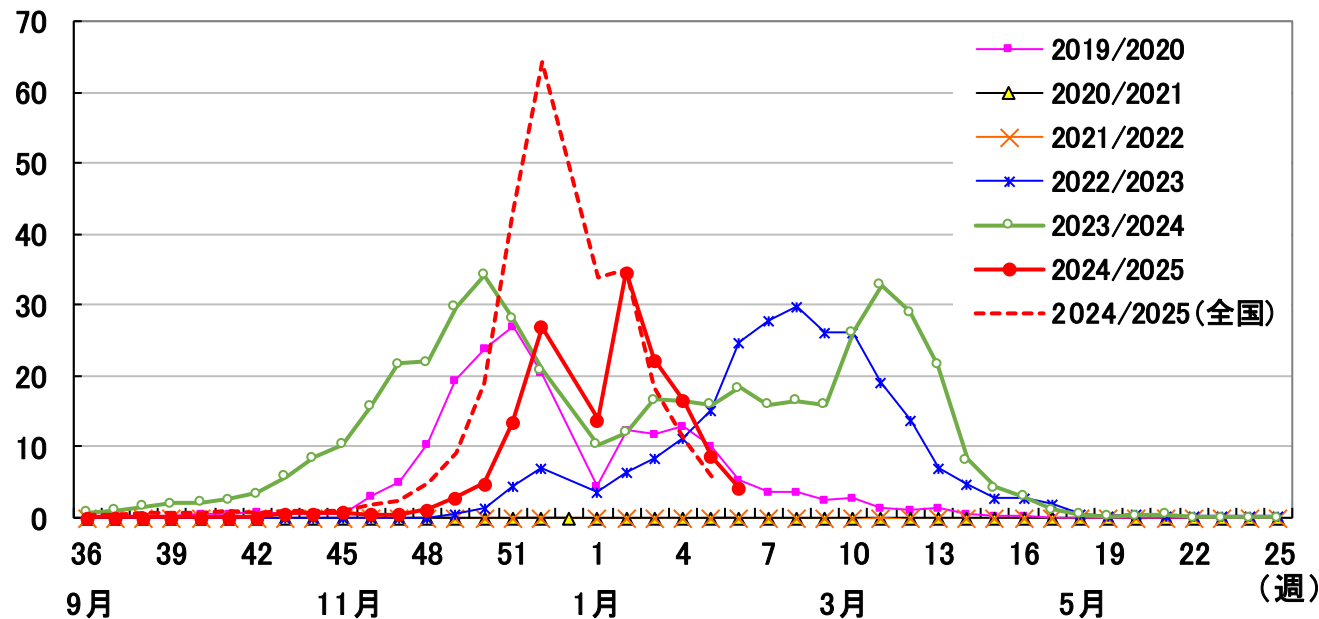
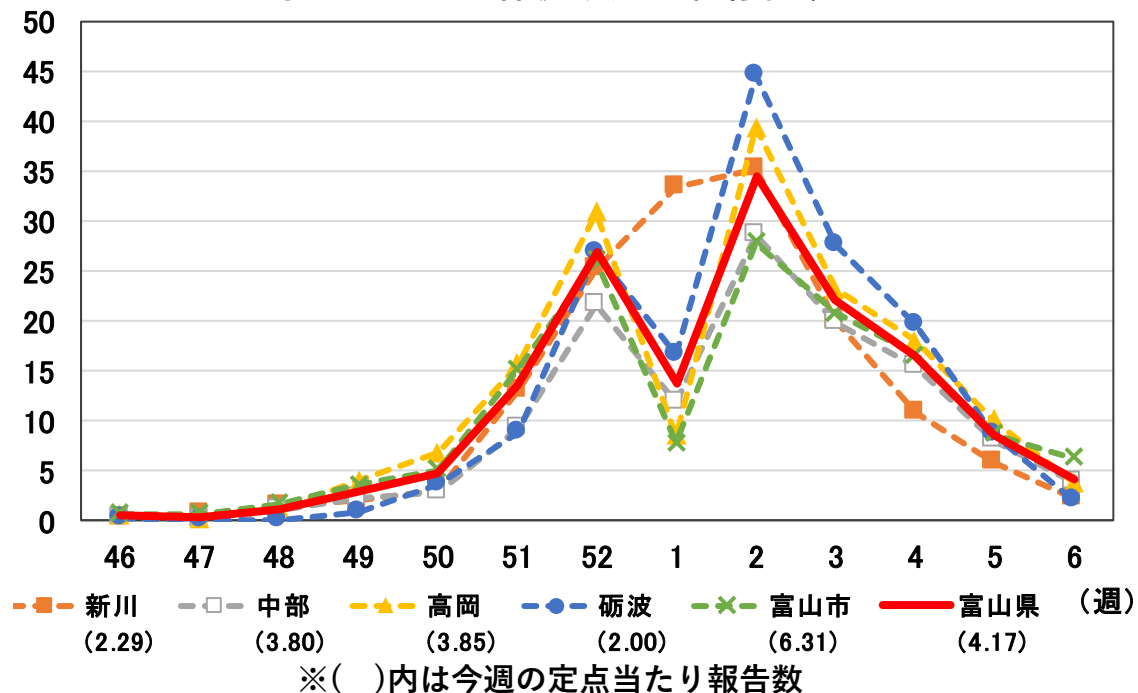


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数(図1)は今週4.17人/定点となり、先週(8.60人/定点)から減少した。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、全ての管内で先週から減少した。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

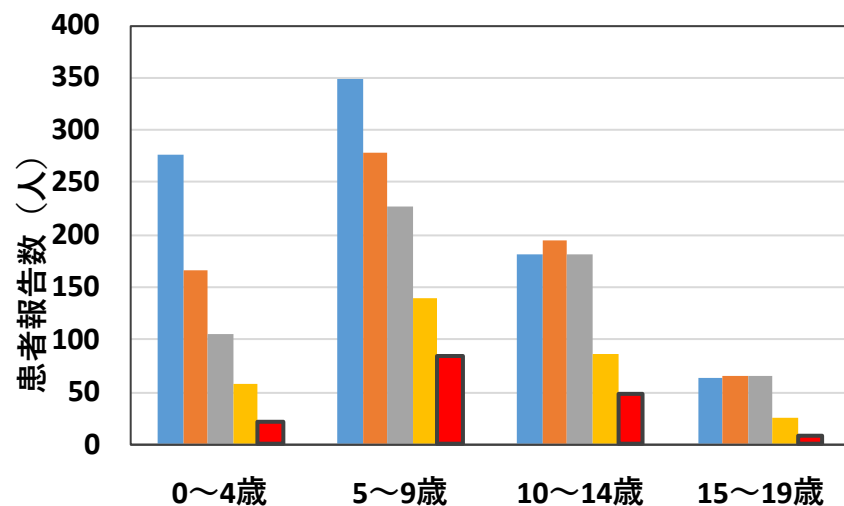
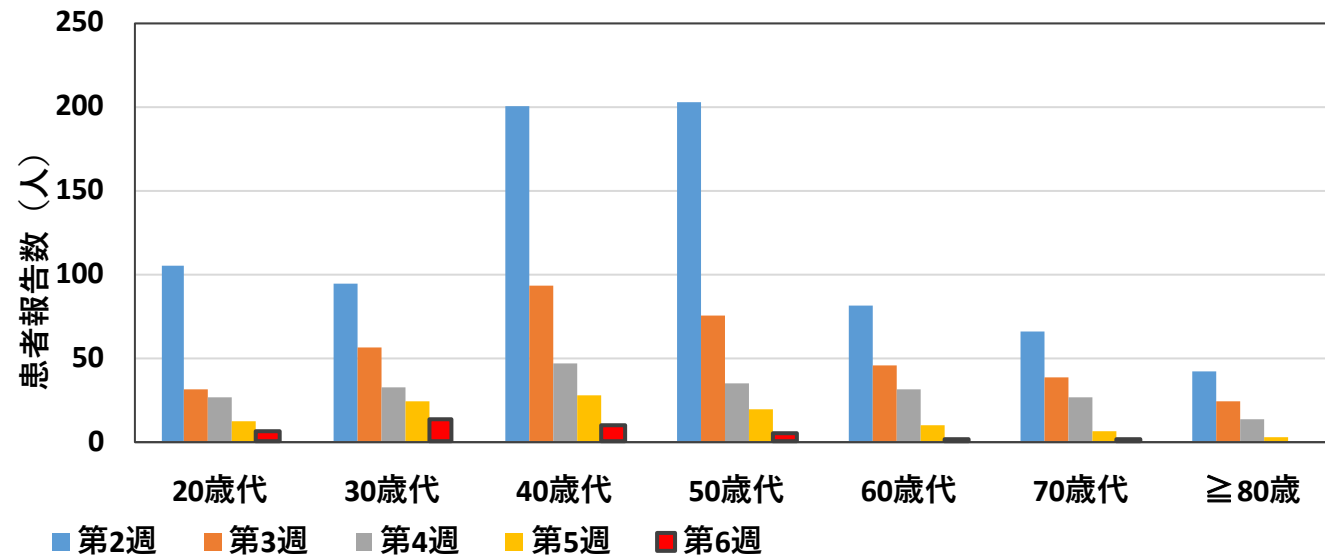


図3-2. ≥ 20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- すべての年代で、先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第5週)

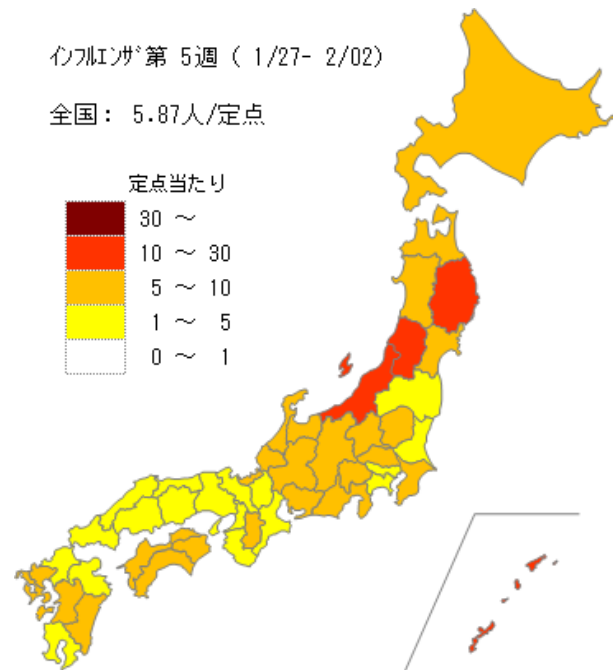
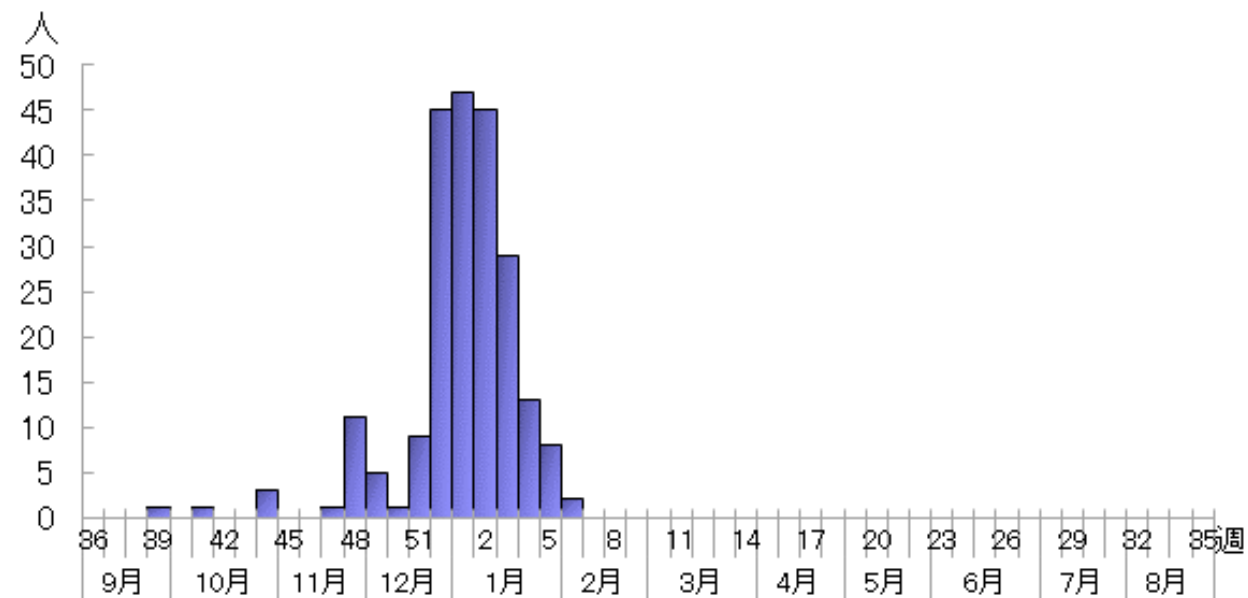


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第6週)



- 全国では第5週に5.87人/定点となり、第4週（11.07）から減少した。
都道府県別（図4）では、4県で警報レベルの終息基準である10人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図5）では、今週2例（80歳以上）の報告があった。
- 第6週はインフルエンザ様疾患による学級及び学年閉鎖の報告が3件（小学校）あった（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。
県内のインフルエンザ定点の患者報告数および入院患者報告数は減少が続いており、全国の患者報告数も同様に減少傾向となっている。昨シーズンでは3月上旬頃から再び患者報告数が増加しており、引き続き発生動向を注視する必要がある。